

開発途上国の観光行政官 12 か国 13 名が宮城県を訪問

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館や気仙沼市魚市場等を視察

JICA東京では、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、開発途上国から観光行政官を受け入れています。開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から観光客の誘致に取り組む国が多くあります。当研修では、日本での観光を使った地域振興の事例、特に観光セクターのSDGsへの貢献事例（サステイナブルツーリズムなど）を中心に視察し、帰国後に彼らの国での観光開発に活かすことを目指したプログラムとなっています。また、コロナ禍を経て「レジリエンス」や「リカバリー」をキーワードとし、宮城県において震災以後、どのように観光セクターが復興してきたかを学びます。



2022 年度の研修風景（群馬県）

今回、宮城県訪問時には、（一社）南三陸研修センターと（株）佐久の方から「震災からの産業復興」についてお伺いし、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を視察します。また、気仙沼市役所や気仙沼市魚市場を視察し（一社）気仙沼地域戦略より気仙沼DMOの講義を、大島ではカキ養殖業者の方からお話をお伺いします。是非取材をご検討ください。

<研修概要>

研修コース名：観光マーケティング・プロモーション—ニューノーマルに向けて—

研修期間：2023 年 9 月 4 日～2023 年 9 月 29 日（26 日間）

研修参加国：エジプト、マラウイ、ザンビア、エチオピア、パレスチナ、ヨルダン、マダガスカル、タンザニア、サモア、エクアドル、モンゴル、ドミニカ共和国からの観光行政関係者 合計 13 名



伝統文化の体験・現場の視察・地元の方の講話等を通して、開発途上国の観光振興及び観光マーケティングを担当する行政官、公的機関職員の人材育成を行います。（写真は 2022 年度研修時のもの）

取材のお申込みや本件に関するお問い合わせ先

JICA 東京 産業開発・公共政策課 門脇・安部

TEL 03-3485-7630 E-mail: Kadowaki.Megumi@jica.go.jp / Abe.Kumiko@jica.go.jp

【取材可能な研修日程】

研修中は2グループに分かれて研修を行う場合もございます。2グループ共に取材可能ですので、是非取材をご検討下さい。

9月21日(木)		内容	
グループ1	14:30 - 15:30	【視察】 震災からの産業復興を聞く 「オクトパス君誕生の秘密。ヒラメキのアイデアが人を呼ぶ」	【講師】 (一社)南三陸研修センター 代表 阿部忠義氏【場所】 南三陸町志津川五日町 201-5 さんさん商店街会議室
グループ2	14:30 - 15:30	【視察】 震災からの産業復興を聞く「震災が教えてくれた森・里・海・人の繋がり」	【講師】 (株)佐久 専務取締役 佐藤太一氏【場所】 南三陸町志津川五日町 201-5 さんさん商店街会議室
全体	16:00 - 17:00	【体験】気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館	気仙沼市波路上瀬向9-1
9月22日(金)		内容	
全体	06:45 - 08:00	【視察】気仙沼市魚市場	【講師】 (一社)気仙沼市観光協会 加藤 英一氏
	09:00 - 09:20	【視察】気仙沼市長表敬訪問	気仙沼市役所 気仙沼市八日町一丁目1番1号
	09:40 - 11:30	【講義】 (一社)気仙沼地域戦略講話 気仙沼DMOについて	【講師】 (一社)気仙沼地域戦略 小松 志大氏 気仙沼市魚市場7-13
グループ1	13:00 - 14:50	【講義】大島 牡蠣養殖業者講話 牡蠣養殖の歴史について	【講師】 ヤマヨ水産 小松 武氏 気仙沼市唐桑町小長根264-1
グループ2	14:20 - 15:50	【視察】 岩手県平泉町中尊寺・金色堂	西磐井郡平泉町平泉衣関202

※当日は研修監理員が同行し、通訳(日本語-英語)を行います。

【過去の研修の様子】

●「観光マーケティング・プロモーション」来日研修レポート(2022年度)

[「観光マーケティング・プロモーション」来日研修レポート | 2022年度 | トピックス | JICA 東京 - JICA](#)